

2) 介護・医療・健診データの分析

(1) 介護の状況

① 要介護認定状況の推移

- ・ 要介護認定者の有病状況をみると、心臓病、筋・骨疾患が高い状況にあり、40歳から64歳の2号被保険者においては心臓病、脳疾患が多くを占めている。（表9）

表8 要介護認定状況（認定者数）の推移

	2号被保険者	1号被保険者						
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
平成24年	7	27	30	23	27	28	25	34
平成25年	5	27	26	18	28	34	27	27
平成26年	5	24	38	26	25	20	38	21
平成27年	7	19	38	19	29	27	32	21
平成28年	9	22	28	26	28	33	34	21

※抽出データ：KDB「要介護（支援）者有病状況

図6 要介護認定状況（認定者数）の推移

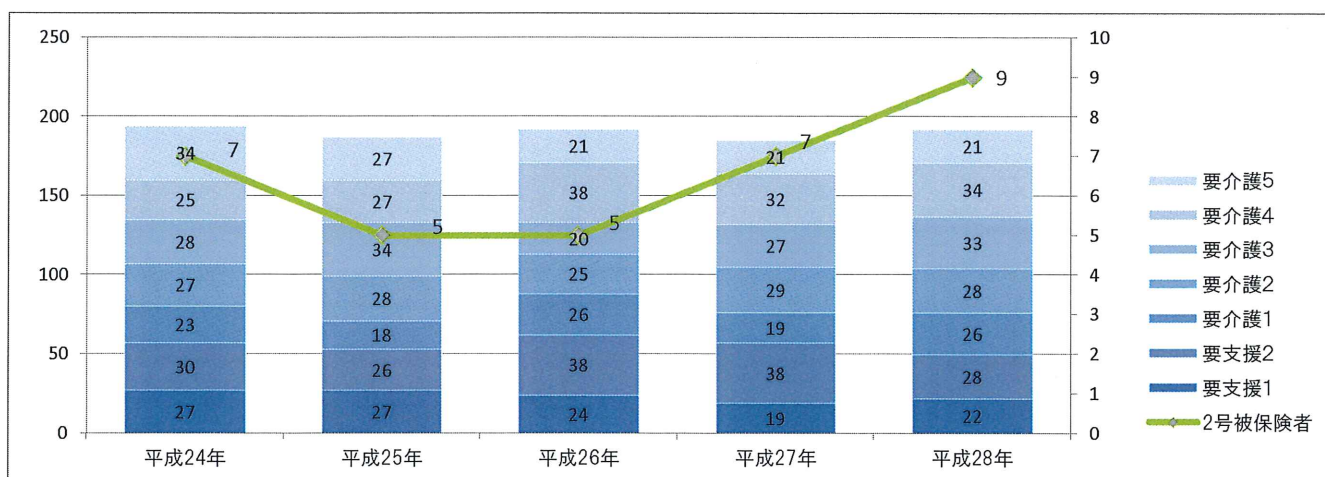


表9 要介護認定者の有病状況（平成28年）

	2号被保険者	1号被保険者						
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
糖尿病	7.1	20.8	20.6	25.2	11.2	8.2	9.6	16.7
(再掲)糖尿病合併症	0.0	0.0	2.4	0.3	0.0	0.0	3.5	0.0
心臓病	38.4	77.9	72.3	75.2	66.5	48.8	37.1	43.4
脳疾患	38.4	20.0	35.0	28.7	26.0	13.6	12.9	29.0
がん	2.0	3.8	16.5	4.2	10.6	4.2	7.0	8.6
精神疾患	18.2	9.2	28.2	47.2	44.4	31.5	25.8	45.2
筋・骨疾患	24.2	72.5	69.9	60.8	52.5	41.2	32.9	30.8
難病	0.0	0.4	0.7	0.7	0.0	0.0	1.4	13.1
その他	47.5	76.3	69.4	73.1	69.3	49.7	36.6	39.4

※抽出データ：KDB「要介護（支援）者有病状況

(2) 国保における医療の状況

① 疾病別医療費内訳

- ・ 中島村の医療費（大分類）は、循環器系の疾患の医療費割合が高い。また、筋骨格系及び結合組織の疾患、尿路性器系の疾患については県・同規模・国と比較して高い割合となっている。（表10）
- ・ 生活習慣病である腎不全、糖尿病、高血圧症の医療費が高額となっている。（図7・表11）
- ・ 1件あたりの費用額を入院・入院外別にみると、入院では心疾患、入院外では腎不全が高額であり県内でも上位となっている。（表12）
- ・ それぞれ高額となる生活習慣病を経年でみると、高血圧症の割合が増加傾向にある。（表13）

表10 大分類 医療費における疾病内訳（平成28年）

	中島村		県	同規模	国
	医療費	医療費割合	医療費割合	医療費割合	医療費割合
循環器系の疾患	54,651,070	15.2%	16.6%	16.4%	15.7%
内分泌、栄養及び代謝疾患	36,954,530	10.3%	10.5%	9.9%	9.6%
尿路性器系の疾患	33,859,500	9.4%	7.5%	7.8%	8.0%
新生物	48,553,270	13.5%	14.2%	13.7%	14.2%
精神及び行動の障害	42,620,160	11.9%	11.0%	9.9%	9.4%
筋骨格系及び結合組織の疾患	39,585,660	11.0%	8.0%	9.1%	8.5%
消化器系の疾患	18,661,520	5.2%	6.4%	6.1%	6.1%
呼吸器系の疾患	20,915,870	5.8%	5.9%	6.1%	6.8%
眼及び付属器の疾患	15,548,170	4.3%	3.8%	3.4%	3.8%
その他	48,084,090	13.4%	16.0%	17.6%	17.9%
計	359,433,840	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※医科+調剤 ※大分類 上位9位以外は「その他」に集約
 ※抽出データ：KDB「大分類」

図7 医療費における生活習慣病疾病内訳（平成28年）

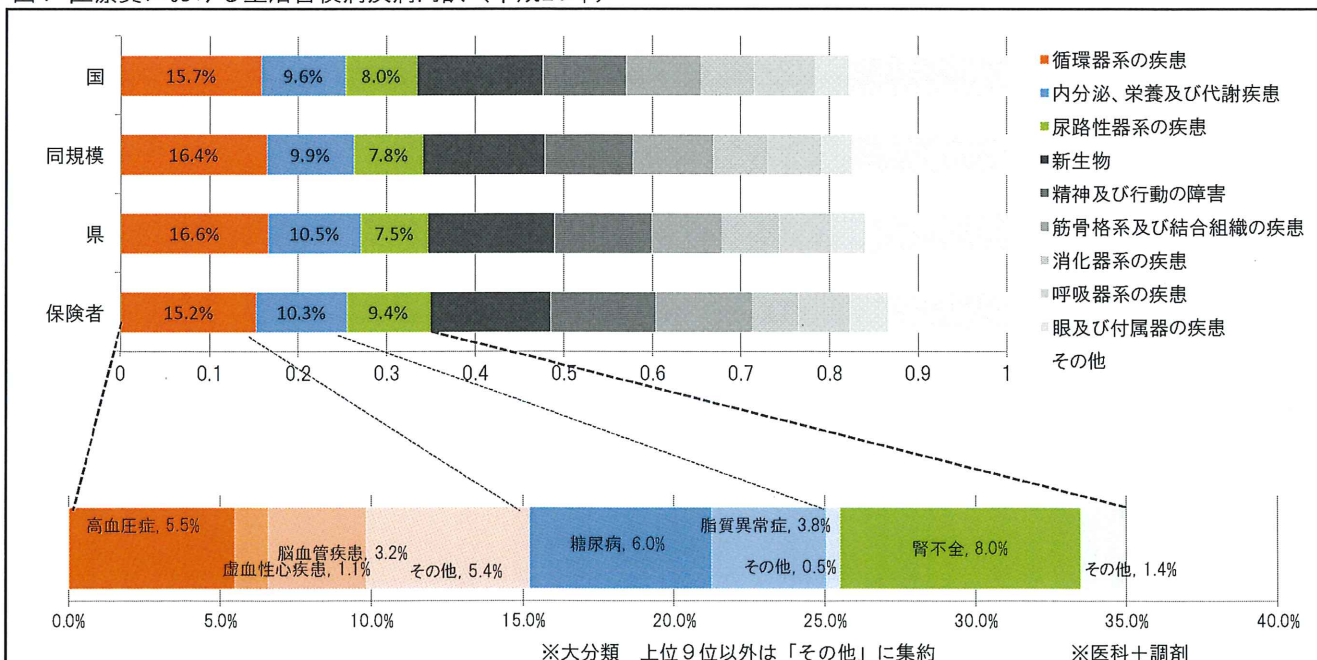


表11 医療費における生活習慣病疾病内訳抜粋（平成28年）

	保険者		県	同規模	国
	医療費（円）	割合	割合	割合	割合
糖尿病	21,683,220	6.0%	6.4%	5.9%	5.5%
高血圧症	19,672,350	5.5%	5.9%	5.2%	4.8%
脂質異常症	13,588,720	3.8%	3.0%	2.9%	2.9%
虚血性心疾患	3,967,770	1.1%	2.4%	2.2%	2.3%
脳血管疾患	11,653,000	3.2%	3.0%	3.2%	3.0%
腎不全	28,677,250	8.0%	5.6%	5.9%	6.1%
腎不全（透析あり）	28,388,300	7.9%	5.0%	5.2%	5.4%
慢性閉塞性肺疾患（COPD）	143,440	0.0%	0.2%	0.2%	0.2%

※抽出データ：KDB[大分類]「中分類」「小分類」

表12 生活習慣病等受診状況（1件あたりの費用額（外来・入院単価））（平成28年）

	入院		入院外	
	1件当たり費用額	件数	1件当たり費用額	件数
糖尿病	502,833 県内52位	53	29,553 県内56位	1,365
高血圧症	624,281 県内20位	79	27,171 県内39位	3,646
脂質異常症	639,560 県内13位	44	23,545 県内51位	2,518
脳血管疾患	643,359 県内24位	28	40,380 県内14位	510
心疾患	870,469 県内7位	11	34,072 県内51位	477
腎不全	350,093 県内59位	4	327,539 県内2位	88
精神	520,313 県内5位	112	24,524 県内54位	1,070
悪性新生物	714,573 県内6位	63	49,117 県内43位	520
歯肉炎/歯周病	0 県内35位	0	14,158 県内22位	1,354

※抽出データ：KDB「健診医療介護からみる地域の健康課題」

表13 生活習慣病患者数の推移

	生活習慣病 総数（人）	脳血管疾患	虚血性心疾患	高血圧症	糖尿病		脂質異常症	
					インスリン療法	糖尿病性腎症		
平成24年	487	38	39	289	90	12	6	183
		7.8%	8.0%	59.3%	18.5%	13.3%	6.7%	37.6%
平成25年	507	38	41	324	94	10	5	205
		7.5%	8.1%	63.9%	18.5%	10.6%	5.3%	40.4%
平成26年	508	51	43	319	112	13	7	235
		10.0%	8.5%	62.8%	22.0%	11.6%	6.3%	46.3%
平成27年	502	42	42	312	126	14	7	228
		8.4%	8.4%	62.2%	25.1%	11.1%	5.6%	45.4%
平成28年	470	45	42	305	109	8	6	207
		9.6%	8.9%	64.9%	23.2%	7.3%	5.5%	44.0%

※抽出データ：KDB「様式3-1」

② 80万円以上の高額疾病の内訳（平成28年4月～平成29年3月診療分）

- ・中島村の80万円以上の高額レセプト状況をみると、生活習慣病である脳血管疾患、虚血性心不全のレセプト件数は全体の約12.3%、費用額は全体の約8.9%を占めている。（表14）
- ・年代別にはがんは60歳代が多く、一般的に70～74歳の件数が最も多い状況である。

表14 レセプト1件80万円以上の状況

	脳血管疾患	虚血性心疾患	腎不全	がん	その他	不明 (未記載)	総数
実人数	5	1	0	13	17	0	36
総件数	6	1	0	20	30	0	57
	10.5%	1.8%	0.0%	35.1%	52.6%	0.0%	100.0%
40歳未満	0	0	0	0	3	0	3
40歳代	0	0	0	0	0	0	0
50歳代	0	0	0	0	7	0	7
60歳代	0	0	0	11	11	0	22
70～74歳	6	1	0	9	9	0	25
費用額(円)	5,573,880	1,150,210	0	28,158,990	40,467,130	0	75,350,210
(割合)	7.4%	1.5%	0.0%	37.4%	53.7%	0.0%	100.0%

※抽出データ：KDB「様式1-1」

③人工透析患者の状況（平成24年～28年の5月診療分より抽出）

- ・平成24年より平成28年まで、実人数は同じであるが、人工透析の年間医療費を実人数で割ると、年間500万円以上となっている。（表16）

表15 人工透析患者数の推移

	実人数	男性			女性		
		40歳未満	40歳～64歳	65歳～ 75歳未満	40歳未満	40歳～64歳	65歳～ 75歳未満
平成24年	5	2	2	0	0	1	0
平成25年	5	2	1	0	0	2	0
平成26年	5	1	2	0	0	2	0
平成27年	5	1	2	0	0	1	1
平成28年	5	1	2	0	0	1	1

※抽出データ：KDB「様式3-7」

図8 人工透析患者数の推移

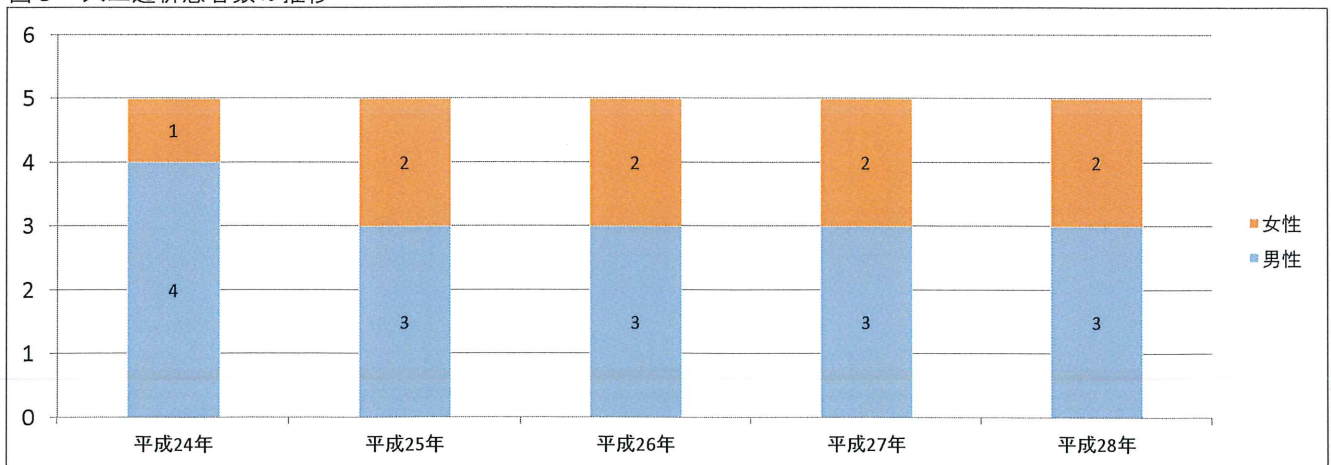


表16 人工透析（慢性腎不全）の年間医療費及び件数の推移（入院・外来）

	総額（円）	外来		入院	
		総額（円）	件数	総額（円）	件数
平成24年	28,978,150	27,697,870	66	1,280,280	2
平成25年	28,296,590	26,040,080	58	2,256,510	4
平成26年	33,063,310	21,098,810	50	11,964,500	15
平成27年	29,411,590	27,140,950	63	2,270,640	5
平成28年	28,388,300	28,045,650	64	342,650	1

※抽出データ：最小分類 各年累計—慢性腎不全（透析あり）の年間総医療費より算出）

図9 人工透析（慢性腎不全）の年間医療費及び件数の推移（入院・外来）

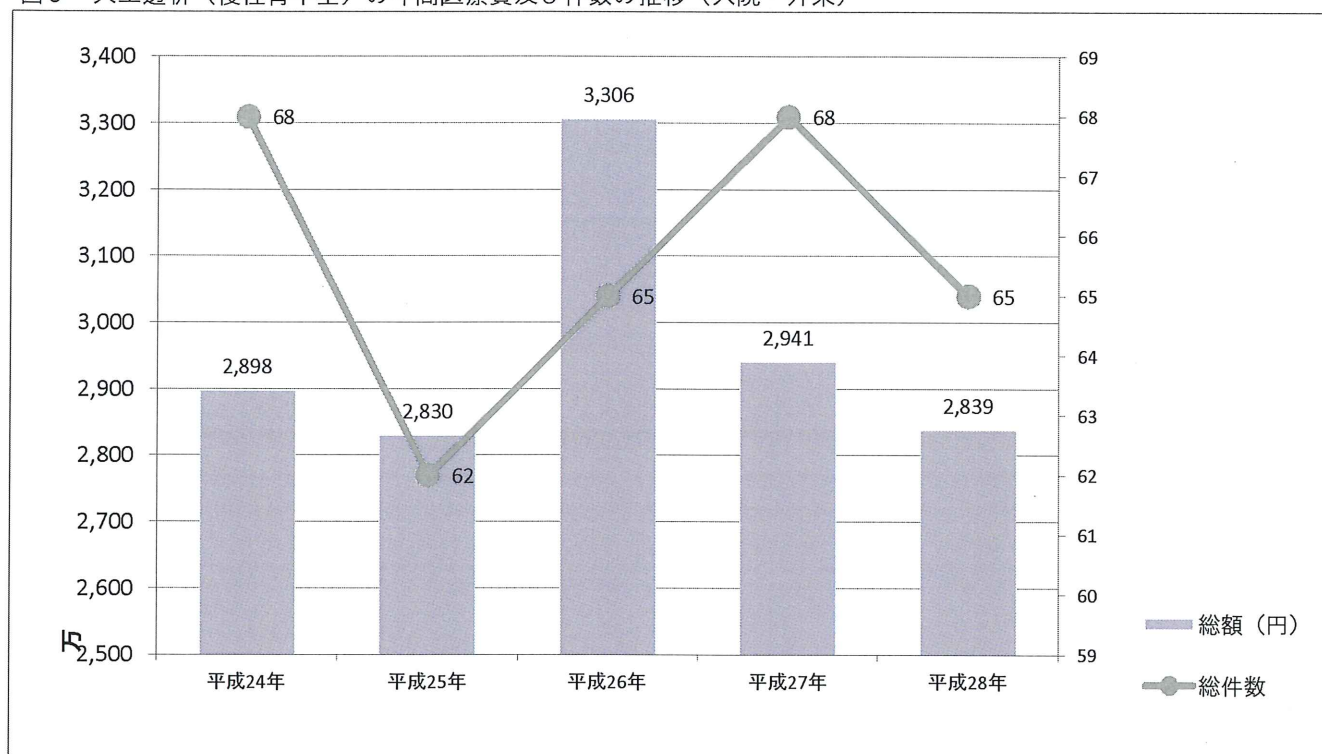
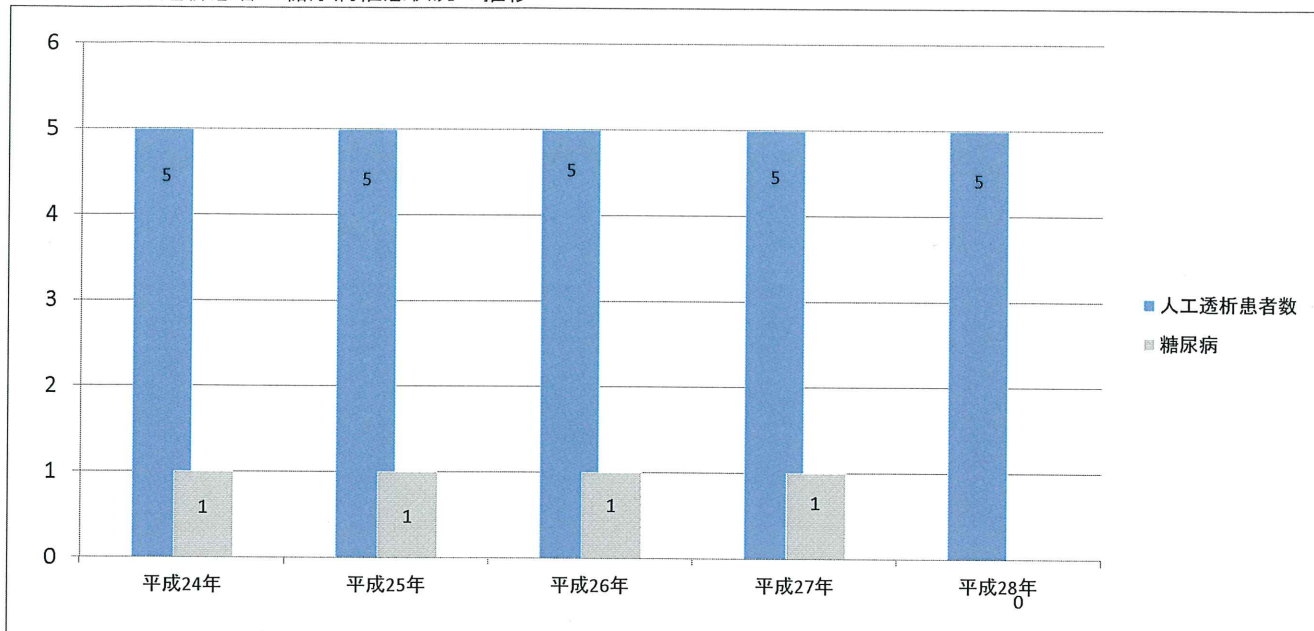


表17 人工透析患者の合併症の推移

	人工透析 実人数	糖尿病		虚血性心疾患		脳血管疾患	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
平成24年	5	1	20.0%	1	20.0%	2	40.0%
平成25年	5	1	20.0%	1	20.0%	2	40.0%
平成26年	5	1	20.0%	1	20.0%	2	40.0%
平成27年	5	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%
平成28年	5	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%

※抽出データ：KDB「様式3-7」

図10 人工透析患者の糖尿病罹患状況の推移



2. 介護・医療データ分析のまとめ

- ◆要介護認定者の有病状況は、心臓病、筋・骨疾患が高い状況にあり、40歳から64歳の2号被保険者においては心臓病、脳疾患が多くをしめている。
- ◆医療費（大分類）の多くを循環器系疾患が占めており、その内訳は生活習慣病である高血圧症の割合が大きい。
- ◆1件あたりの費用額を入院・入院外別にみると、入院では心疾患、入院外では腎不全が高額であり、県内でも上位となっている。
- ◆人工透析の実人数は増加していないが、65歳以上の新規人工透析患者が障害認定により後期高齢者医療制度へ移行しているためである。